

(様式1) 実践事例

学校名	二本松市立東和中学校	校長名	天野 茂		
住所	二本松市針道字大町西1番地	児童生徒数	191名	学級数	7
TEL	0243-46-2103	ホームページアドレス	www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/towa-jhs/		

小中連携を生かした少人数指導

東和小学校と東和中学校は、同じ敷地内に建っている。小学校と中学校をつなぐ橋を渡れば教職員や児童生徒の移動も簡単にできる。東和小学校と中学校でしかできない利点を生かした少人数指導を実践している。



【小・中をつなぐ橋】

1 少人数指導の計画等

- (1) 加配された教員、非常勤講師の組織的・計画的な活用
 - 震災加配（英語科講師）が配置されている。本校では、いわゆる「中1ギャップ」を解消するため中1英語科において T1（教科担任）・T2（講師）・ALT による T・T 授業を実施している。
- (2) 学校種が変わる学年（小5・6・中1）での少人数指導の実施
 - 算数（小6：週1回）・・・小6担任、数学科教諭、市の非常勤講師による T・T 授業
 - 数学（中1：週2回）・・・数学科教諭と小6担任による T・T 授業
 - 英語活動（小5・6：週1回）・・・小5・6担任、英語科教諭による T・T 授業

2 実践の概要

- (1) 小学校での外国語活動
 - 毎週月曜日、小学校5、6年生の学級へ英語科教諭が出向き、担任の先生と ALT の3名で分担をしながらネイティブスピーカーの役割をしている。
 - 毎時間テーマを設け、T2（英語科教諭）、T3（ALT）が学習者としてのモデルになって積極的な姿を示したり、児童の意欲を高めるための個別指導を行ったりすることにより、児童が楽しく英語にふれたり、充実感をもったりすることができたので、中学校での英語学習の意欲付けに有効であった。
- (2) 算数・数学の T・T 指導
 - 火・水曜日に小学校の担任や市の非常勤講師に中学校に来校していただいたり、金曜日に小学校へ数学科教諭が出向いたりして個別指導や T・T 指導を実施している。
 - 毎時間実施している計算ドリルや本時のねらい達成のための活動において、T1、T2、T3 が児童生徒一人一人の学びの状況に応じた手立てを講じるために、習熟度別にコーナーを設けて個別指導を展開し、きめ細かな指導を実施している。



【外国語活動】



【数学 T・T】

3 実践の成果と課題

- 小中の教員が行き来することにより、生活面と学習面の指導の両方を同時に行うことができる。そのことが、中学校入学時からの指導や支援にも十分に生かすことができ、生徒のもてる力を高めることにつながった。
- 一斉指導では、個人差に対する支援が不十分になってしまうので、T・T 指導により個に応じた手立てを講じて支援することにより、課題解決ができるようにして意欲の喚起や自信へとつながるようにしている。
- 小6の算数の授業などは、習熟度別と T・T 授業を併用しているが、時には小集団に分けてそれぞれ一人の教師が受けもつなど、柔軟な対応ができ、きめ細かな指導ができた。
- 中学校区で目指す児童生徒像を共有した上で、それぞれの学校や教科等で資質・能力を育てていく教育方法を考えていくことが大切である。
- 教員間での打合せや進度調整の時間確保を設定していく必要がある。



【算数個別指導】